**がまだすドーム**

がまだすドームへようこそ。「がまだす」は地域の方言で「がんばれ」という意味だ。ここでは災害に直面した中で復興した精神と楽観性を完全に展示している。私たちの地球について自然災害が教えていること、火山活動による驚くような恩恵、将来の災害に対してどのように今備えるかということが学べる。

がまだすドームは1990 年から 1995 年の破壊的な平成噴火を記憶しておくために 2002 年に建てられた。建物には島原半島ジオパークの本部も所在する。中には、最近と大昔の火山噴火のストーリーを展示する双方向型博物館、雲仙災害記念ホール（Mount Unzen Disaster Memorial Hall）がある。

島原大変劇場は 1792 年の大災害となった噴火の時代を再現している。伝統的な歌舞伎の手法で語られるマルチメディアプレゼンテーションを通して、地震の詳細や島原だけでなく地域全体が影響を受けた様子について学べる。

大噴火シアター（Heisei Shinzan Eruption Cinema）では、平成噴火の歴史と悲劇を見る者に教える、実体験のように感じられるビデオを見ることができ、火砕流のすざまじい威力を直に伝えてくれる。

他の展示品からは、日本や世界中の異なる種類の火山や、火山の近くで住むことのメリット、新技術によってどのようにより備えができるようになったか、そして災害から復興できるようになったかについてがわかる。